

韓国語

辻野, 裕紀
九州大学大学院言語文化研究院 : 准教授

<https://hdl.handle.net/2324/1787930>

出版情報 : 外国語のすゝめ. 2017, pp.5-, 2017-03. 九州大学大学院言語文化研究院
バージョン :
権利関係 :



外国語紹介

ロシア語

ロシアは日本の隣国です。現在、両国間の経済的、文化的、人的交流が活発化の兆しを見せています。日本の大手自動車会社があいついでロシアに工場を建設するなど、ロシアは新たな市場として注目されています。日本企業も参画するサハリンでの石油・天然ガス開発事業でも生産が開始されました。わが国におけるロシア語の社会的需要はこれからさらに高まるはずで

また、言うまでもなく、ロシアは国際社会における最重要国のひとつです。しかも、ロシア語はロシアばかりではなく(ロシア一国だけでも十分広大ですが)、かつてソ連邦であった地域を中心に2億3000万人を超える人々によって話されています。

ロシア語というと、あの「奇妙な」文字を思い浮かべる人が多いことでしょう(もっとも、見慣れない文字だからといって、発音まで「変わっている」とは限りません。念のため…)。じつは、ロシア語の文字はギリシア文字からつくられています。これはロシアがビザンツ帝国からギリシア正教を受容したためです。他方、英語と同じ文字を使う西欧の多くの言語は、カトリック教の文化圏に属しています(東西キリスト教会の分裂については世界史で習ったでしょう)。文字にはこうした歴史的、宗教的な背景があります。だから、ロシア語を学ぶことで、カトリック教中心の西欧とは異なる宗教文化に触れることができます。

また、ロシア語では文の中での役割(主語、目的語など)によって名詞が形を変えます。人の名前も変化します。日本語には「て、に、を、は」がありますが、それとどのような機能を果たしています。こうした変化の規則は、最初のうちは厄介に感じるでしょうが、基本的な構造を身につかせさえすれば、かえってわかりやすくなるという利点もあります。

ドストエフスキーやトルストイに代表される文学、チャイコフスキーらの音楽、美しいバレエ、厳かな宗教画(イコン)、さらには、その斬新さで世界の現代芸術のさきがけとなったロシア・アヴァンギャルドなどなど、ロシアには豊かな文化があります。ロシア語を学ぶことで、こうしたロシアの文化にもっと親しむことができますでしょう。



韓国語

韓国語は「朝鮮語」とも呼ばれ、大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の住民の圧倒的多数が母語とする言語です。また、中華人民共和国の朝鮮族、ロシア連邦やウズベキスタン、カザフスタンなどの高麗人、日本の在日コリアンなどによっても使用されており、8,000万人以上の話者人口を有する大言語と言えます。

韓国語には様々な地域方言があり、言語学的には大きく6つほどの方言区画に分類されますが、南北ともにその標準語は基本的にソウル方言に基づいています。

韓国語の系統は未だ不明ですが、文法構造の面では、日本語やアルタイ諸語(ツングース諸語、モンゴル諸語、チュルク諸語)と類似しています。例えば、格関係を表すのに助詞を用いたり、SOVを基本語順とするなど、その類似点は枚挙に遑がありません。いわゆる敬語の体系も日本語と同じく高度に発達していますが、概ね日本語が相対敬語であるのに対し、韓国語は絶対敬語であるなど、同じ敬語体系を有していても相違点が見られます。なお、形容詞と動詞の一義的形態論的区別がない点は、ギリヤーク語(ニヴフ語)等と共通しています。

音韻の面では、日本語と大きく異なります。母音、子音の各々が日本語のそれよりも多く、音節構造も閉音節が多く現れます。音節末には7種の子音がひとつ立ち得ます。形態音韻論的交替も激しく、これは韓国語の難しいところでもあり、面白いところでもあります。現代韓国語(ソウル方言)には高低アクセントはなく、いわゆる長母音も事実上崩壊しています。これらも日本語と異なる点です。

語彙は、その出自から、固有語、漢字語、外来語、混種語の4種の語層に分類されます。漢字語は朝鮮漢字音で読まれ、日本語の漢語と共通した語が多くあります。

文字は、「ハングル」と称される、1443年に目的意識的に作られた人工的な文字を使用しています。子音字は発音器官、母音字はいわゆる三才(天地人)を象っています。ハングルは1字母1音を原則としつつも、その字母を音節ごとに組み合わせることで1文字を形成するため、音素文字としての性格と音節文字としての性格の双方を併せ持っています。漢字語については、漢字で表記することも原理的には可能ですが、現在の韓国においては、一部の人文系の学術書などを除き、漢字はほとんど用いられません。

